



『伝法袈裟』 喜捨ご結縁のお願い

浄土宗におきまして、僧侶となるためには、まず所定の学業を修了し、厳しい修行の上、浄土宗の宗脈・戒脈を相承しなければなりません。このことを伝法と称し、またその行を伝宗伝戒道場(加行道場^{けきどう})といい、修行僧を加行僧と申します。そこで当山では、加行僧が着ける袈裟を有縁の皆様のご喜捨によって仕立て、これを「伝法袈裟」と称しております。

この袈裟には、ご喜捨の施主名と有縁のご法名を明記し、授与された僧侶が終生被着してその追善回向をさせていただきます。ご喜捨の施主様にとっては何よりの先亡諸霊位に対するご供養になると存じます。

どうか右ご理解いただき、本年もぜひご喜捨ご結縁賜りますようお願い申し上げます。

合掌

令和八年八月佛歡喜日

総本山知恩院執事長

貴田 善澄

記

一、伝法袈裟冥加

一霊位につき 金一〇、〇〇〇円也

一、お申込み方法

別添申込書に冥加料を添えていただき、十月末日(必着)までに、現金書留にてお申込み下さい。

なお、「伝法袈裟」仕立ての都合により、十月末日をすぎると来年度分として取り扱わせていただくこととなりますので、ご容赦いただきますようお願いいたします。

一、お申込み先

〒605-8686 京都市東山区林下町四〇〇

総本山知恩院布教部教務係宛

☎〇七五・五三一・二二五七

※お申込みいただいた方の個人情報、当山で伝法袈裟喜捨結縁に関する業務にのみ使用し、他に流用することはありません。

